



都市地下空間活用研究会

Urban Underground Space Center of Japan

USJ NEWS LETTER

令和4(2022)年5月 No.1

通常総会に向けて

去る4月26日、当研究会の企画運営小委員会(幹事長: 日本大学工学部土木工学科教授大沢昌玄先生)が(一社)国際建設技術協会の会議室にて開催され、今年度の通常総会に向けたスケジュールが以下の通り確認されました。

- | |
|-------------------------------|
| ① 企画運営委員会・企画運営小委員会合同会議 |
| 日 時：令和4年5月23日(月) 15:30~16:30 |
| 場 所：(一社)国建協会議室 → オンライン開催に変更予定 |
| ② 監事監査 |
| 日 時：令和4年6月10日(金) 11:00~12:00 |
| 場 所：都市みらい推進機構 会議室 |
| ③ 第37回 評議員会 |
| 日 時：令和4年6月22日(水) 10:00~10:45 |
| 場 所：オンライン開催 |
| ④ 第36回 通常総会 |
| 日 時：令和4年6月22日(水) 10:45~11:30 |
| 場 所：オンライン開催 |

また、当日は調査研究部会の3つの分科会から、令和3年度の活動報告、令和4年度の活動計画について報告がありました。これらについては、今後このニュースレターでも順次紹介していく予定です。

更に、事業部会、情報化推進部会、国際交流部会の3つの部会からも同様な報告があり、こちらは今後、評議員会、通常総会において審議されます。

特に事業部会からは今秋に開催予定の「第3回自治体職員向けの地下空間活用に関する研修会(企画案)」、情報化推進部会からは昨年運用を開始した「ホームページ上のコラム欄『地下研掲示板』の見直し」について付議され、活発な意見交換がありました。いずれもそれぞれの部会並びに事務局で練り直した上で、企画運営小委員会幹事会で内容を固めていくこととなりました。

プロジェクトレビュー（R4年5月号）

今回からタイトルを「プロジェクトレビュー」と改め、会員各社並びにその関連会社の地下利用に関する動向をお知らせします。また、これまでディベロッパーのプロジェクトを中心にみてきましたが、今後は、地下鉄事業やガス・エネルギー供給事業などの公益事業も取り上げることにしました。

2021年10月18日	丸の内熱供給株式会社 / 東京ガス株式会社
<p>国内最大規模となるカーボンニュートラル都市ガス導入</p> <p>丸の内熱供給株式会社と東京ガス株式会社は、丸の内熱供給が運営するすべての地域冷暖房プラントで使用する都市ガスの全量を、カーボンニュートラル都市ガス（「CN都市ガス」）に切り替えることに合意し、2021年11月1日より使用を開始すると発表した。今回のこの切替えて、エリア全体に供給する都市ガス由来のCO2は実質ゼロとなる。</p> <p>https://www.tokyo-gas.co.jp/news/press/20211018-01.html</p>	
2021年10月26日	鹿島建設株式会社 / 三井不動産株式会社
<p>「八重洲二丁目中地区第一種市街地再開発事業」市街地再開発組合設立</p> <p>鹿島建設株式会社、三井不動産株式会社などの参加組員6社は東京都知事より本事業の組合設立の認可を受けた。本事業は東京駅前八重洲エリアに位置し、約2.0haの敷地に、延床面積約39万㎡の超高層大規模複合ビルを建設する。ここでは近隣の再開発事業と一体運用を行う地下バスターミナルを整備する。</p> <p>https://www.mitsuifudosan.co.jp/corporate/news/2021/1026/download/20211026.pdf</p>	
2021年11月18日	三菱地所株式会社 / 東京地下鉄株式会社
<p>『赤坂二・六丁目地区』開発計画 国家戦略特別区域計画認定</p> <p>三菱地所株式会社と株式会社TBSホールディングスは、共同で推進してきた本事業が国家戦略都市計画建築物等整備事業として都市計画が告示されたと発表した。東京地下鉄株式会社が進める「えき・まち連携プロジェクト」の対象で、東京メトロ赤坂駅と連携して開放性と賑わいを備えた空間を整備する。</p> <p>https://www.mec.co.jp/j/news/archives/mec211118_akasaka.pdf</p>	
2021年11月22日	大阪市高速電気軌道株式会社
<p>次世代都市交通システムの実用化を目指した実証実験</p> <p>Osaka Metroは、他9社と共同で、2025年大阪・関西万博会場内外の輸送において、レベル4を見据えた自動運転車両を核とした次世代の交通管制システムの提供を目指した実証実験を行うと発表した。本実証実験では、大阪・関西万博での待ち時間のない効率的な移動目指し、BOLDLY株式会社へ遠隔監視システム及び自動運転車両の提供を委託する。</p> <p>https://subway.osakametro.co.jp/news/news_release/20211122_jisedai_toshikotsu.php</p>	
2021年11月30日	東京建物株式会社
<p>「八重洲一丁目北地区第一種市街地再開発事業」市街地再開発組合設立認可</p> <p>東京建物株式会社は、八重洲一丁目北地区再開発準備組合の一員として進める本事業の市街地再開発組合の設立が認可されたと発表した。本事業では東京駅および地下鉄日本橋駅から日本橋川沿いへと向かう地上、地下、デッキレベルの歩行者ネットワークと縦動線が整備される。</p> <p>https://pdf.irpocket.com/C8804/ZJpV/qlgU/BoVq.pdf</p>	

2021年12月7日	三井不動産株式会社 / 野村不動産株式会社
<p><u>「日本橋一丁目中地区第一種市街地再開発事業」着工</u></p> <p>三井不動産株式会社と野村不動産株式会社は、日本橋一丁目中地区市街地再開発組合の一員として進めている本事業を12月6日に着工したと発表した。地下1階レベルでは、整備予定の地下歩道を通じて、東京メトロ銀座線・東西線「日本橋」駅に直結し、将来的には周辺街区の開発に伴い東京駅日本橋口より日本橋駅までの地下通路が整備される予定。</p> <p>https://www.mitsufudosan.co.jp/corporate/news/2021/1207_01/download/20211207_01.pdf</p>	
2022年1月13日	三菱地所株式会社
<p><u>日本一の高さとなる Torch Tower 高層部にラグジュアリーレジデンス導入決定</u></p> <p>三菱地所株式会社は、2027年度竣工予定の「Torch Tower」高層部に、賃貸レジデンスを導入することを決定したと発表した。本レジデンスは、Torch Towerの地上高さ約300mのフロアに約50戸（70㎡台～400㎡台）を予定しており、東京駅前かつ東京駅・大手町駅直結という高い利便性を有する。</p> <p>https://www.mec.co.jp/j/news/archives/mec220113_tokiwabashiresidence.pdf</p>	
2022年3月15日	三井不動産株式会社
<p><u>「東京ミッドタウン八重洲」地下1階の13店舗が9月17日に先行オープン</u></p> <p>三井不動産株式会社は、八重洲二丁目北地区市街地再開発組合の一員として、「東京ミッドタウン八重洲」開発を推進しているが、地下1階の13店舗が、地下2階「バスターミナル東京八重洲」とともに2022年9月17日に先行オープンすると発表した。グランドオープンは2023年3月を予定。</p> <p>https://www.mitsufudosan.co.jp/corporate/news/2022/0315_03/download/20220315_03.pdf</p>	
2022年3月24日	三井不動産株式会社など
<p><u>「TOKYO CROSS PARK 構想」を発表</u></p> <p>帝国ホテルが位置する「内幸町一丁目街区」の開発を進める事業者10社は、当街区の事業構想である「TOKYO CROSS PARK 構想」と、5つのテーマを発表した。当街区は、都心最大級の延床面積約110万㎡の開発プロジェクトで、日比谷公園とつながるとともに、オフィスや商業施設、ホテル、住宅機能等を備える予定。地下・地上結節空間等を整備し、駅・まち・公園一体の歩行者ネットワークを形成する。</p> <p>https://www.mitsufudosan.co.jp/corporate/news/2022/0324/download/20220324.pdf</p>	
2022年3月28日	東京地下鉄株式会社
<p><u>有楽町線延伸（豊洲・住吉間）及び南北線延伸（品川・白金高輪間）の鉄道事業許可</u></p> <p>東京地下鉄株式会社は、有楽町線延伸（豊洲・住吉間）及び南北線延伸（品川・白金高輪間）の第一種鉄道事業許可を3月28日付で国土交通大臣より受けたと発表した。有楽町線延伸（豊洲・住吉間）は建設キロ4.8km、総建設費約2,690億円、開業目標2030年代半ば、一方、南北線延伸（品川・白金高輪間）は建設キロ2.5km、総建設費約1,310億円、開業目標2030年代半ばの見込み。</p> <p>https://www.tokyo-metro.jp/news/images_h/metroNews220328_3.pdf</p>	
2022年4月1日	東京ガスネットワーク株式会社
<p><u>東京ガスネットワーク株式会社の事業開始</u></p> <p>東京ガスネットワーク株式会社は、東京ガス株式会社からガス導管事業等を承継し、4月1日より事業を開始したと発表した。同社は、ガス導管事業者として、保安・安定供給の確保と天然ガスの利用促進による低炭素化および脱炭素化されたガス体エネルギーの普及拡大を目指す。資本金100億円、従業員数約4,300名（出向者含む）、導管本部、需要開発本部の2つの本部組織でスタートする。</p> <p>https://www.tokyo-gas.co.jp/network/news/press/20220401-02.html</p>	

2022年4月7日	大阪市高速電気軌道株式会社
<p><u>「地下空間の大規模改革」 9 駅のリニューアルデザインが決定</u></p> <p>Osaka Metro は、御堂筋線淀屋橋駅、本町駅、大国町駅、天王寺駅、そして大阪・関西万博のアクセス路線である中央線大阪港駅、弁天町駅、本町駅、谷町四丁目駅、森ノ宮駅の9駅のリニューアルデザインを決定した。同社は2019年8月には御堂筋線梅田駅、心斎橋駅など5駅のデザインを発表し、リニューアル工事を進めている。</p> <p>https://subway.osakametro.co.jp/news/news_release/20220407_station_renewal.php?_ga=2.19147320.1607322207.1651636069-962713535.1651636069</p>	
2022年4月21日	森ビル株式会社
<p><u>「虎ノ門・麻布台プロジェクト A 街区」が上棟</u></p> <p>森ビル株式会社および日本郵便株式会社が参加組合員として参画し、虎ノ門・麻布台地区市街地再開発組合が推進する「虎ノ門・麻布台プロジェクト A 街区」が上棟した。「虎ノ門・麻布台プロジェクト」では、A 街区を始めとする複数の超高層建築によって、足元には緑豊かな環境を創出し、住む・働く・学ぶ・遊ぶ・憩うなど、多様な都市機能が徒歩圏内に集約された「立体緑園都市（ヴァーティカル・ガーデンシティ）」を実現する。</p> <p>https://www.mori.co.jp/img/article/220421_1.pdf</p>	